

KOJSP（神戸オックスフォード日本学プログラム）2024年度の活動報告



【写真説明】神戸オックスフォード日本学プログラム（KOJSP）12期生修了式（2024年8月2日）

【活動概要】

神戸大学は2011年にオックスフォード大学と学術交流協定を締結し、同時に神戸大学文学部とオックスフォード大学東洋学部（現アジア中東学部）の間でも「神戸オックスフォード日本学プログラム（略称 KOJSP = Kobe-Oxford Japanese Studies Program）」に関する協定が締結された。このプログラムは、オックスフォード大学東洋学部（現アジア中東学部）日本語専攻の2年生全員が1年間を神戸大学文学部で学習するユニット受け入れ型のプログラムである。オックスフォード大学日本語専攻の学生にとって KOJSP は必修となっており、2024年までに第12期生を迎え入れている。

KOJSP は2023年度に島津製作所との間に業務協定を締結したほか、オックスフォード大学とともに日本学研究にも力点を置き、学術講演会の開催、研究集会などを開催している。

【活動内容】

2024年度は、2023年9月末に来日した KOJSP12期生が8月に修了し、9月末に新たに13期生を受け入れた。12期生は来日から約1年間、神戸大学文学部で日本語および日本文化等について学習した。2024年度前期は各自が研究テーマを設定し、KOJSP 演習担当教員や日本語教員、指導教員、チューターらと共に、修了研究に取り組んだ。

2024年8月2日の修了発表会では、以下の題目の通り、日本の文化、法律、政治など多岐に渡る内容が報告された。修了発表後には、続けて修了式が執り行われた。

- FREEDMAN AARON JACK 「二十世紀日本におけるユダヤ人陰謀説：その政治的影響」
- THOMAS PHOEBE BEATRICE 「どうやって母親の生活水準を改善するのか」
- BONNETT ELIZABETH DORIS ROSE 「暴力団組織と日本社会における役割」
- CASTLE HARRIET MAY 「日本における報道の自由と名誉毀損：旧統一教会に関する事例研究」
- WEBB POLLYJEAN COOPER 「封建主義から資本主義への移行：英国と日本の比較分析」
- SMITH YANGLAN 「90年代以降日本不動産市場の回復と今後の展望」
- MACFARLANE LILY IONA 「1970年の日本万国博覧会：日本の国家的アイデンティティの反映と再定義」
- GOODALL TURNER ISABELLA 「日本の防衛の将来はどうか」

研究面では、国際共同研究強化事業（C）によりオックスフォード大学より J. ルイス准教授を招聘し、11月20日には講演会「西側から見た日本列島と朝鮮半島」を実施した。また KOJSP との関連から、6月19日に、本学で在外研究中の Alec Schellinx 氏（オックスフォード大学）による韓非子に関する研究報告会「FOAM (ING) ARGUMENTS」を開催した。